

2018年12月5日

「宮城県東日本大震災みやぎこども育英基金」 へ寄付金贈呈を行いました

「東日本大震災」により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、東北労働金庫（本店 仙台市 理事長 影山 道幸）では、宮城県を通じて「宮城県東日本大震災みやぎこども育英基金」へ500,000円を寄付いたしましたのでお知らせいたします。

この寄付金は、2018年11月1日より12月31日まで実施しております「ウィンターキャンペーン2018」で、景品として提供している「山元いちごチョコレートクランチ」の購入資金の一部を寄付したものです。この商品は震災後、学生ボランティアたちが復旧活動を行う中で、「もう一度いちご栽培を再開したい」と願う農家の方々と出会い、地元産業の再生は地域の復興に繋がると信じて、企画開発されました。商品の売上げ代金の一部は、被災地の子育て支援事業に寄付され、被災地支援に役立てられています。当金庫は、その取組みに共感し、被災地支援の一環として「ウィンターキャンペーン2018」の景品として購入したものです。

11月30日（金）に、当金庫より伊藤啓志常務理事（宮城県本部長）と中村徹執行役員、信成祐一営業統括部長が宮城県庁を訪問し、佐野好昭副知事へ目録を贈呈いたしました。

贈呈に際し、伊藤常務理事より、「被災地の復興と再生を目指し、福祉金融機関としての社会的責任を果たすべく、今後も被災地支援に取り組んでいく」ことを表明し、佐野副知事より「東日本大震災の復興・復旧にはまだまだ時間を要する。被災した子どもたちが健やかに育っていけるように支援していくための資金として活用したい」との感謝の言葉をいただきました。

東北労働金庫を始め、全国の労働金庫では業態を挙げて「東日本大震災」で被災にあわれた方への支援を現在も継続して実施しております。被災地の1日も早い復興を心からお祈り申し上げますとともに、今後も、日本で唯一の福祉金融機関として金融サービスを通じて被災された方々の生活再建に尽力してまいります。



〔本件に関するお問い合わせ先〕

東北労働金庫 営業統括部（担当：信成・三浦）

Tel 022-723-1118 Fax 022-215-3169

〒980-8661 仙台市青葉区北目町1-15Ace21ビル

労働金庫は「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」です。

今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます。